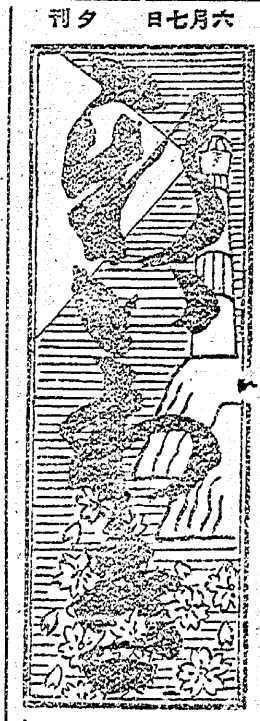
六月七日　夕刊



日刊但シ日曜祭日及日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢
振替口座 二十錢
發行所 福島縣平市大町二三 常磐毎日新聞社
發行兼編輯人 中谷義雄

資金拾萬圓を調へ 春繭の出廻を待つ

四倉市場は來る十二日から 相場五十圓位の見込み

石城郡販利經營の四倉繭市場は春繭取引の準備を整へ本月十五日より開場を豫定してゐたが郡内大野、草野、小川方部に早出廻りがあるため十二日に繰上げ開場の筈であつて初取引には精々二百貫ぐらゐの出荷らしく相場は大体五十圓を豫想されてゐるが同場本年の春繭取引總量は二萬八千貫を見込み產業組合中央會から低資十萬圓融通を受けた尙ほ植田繭市場は來る十八日より開場の豫定であると

澤渡村選擧當日有權者三〇
一　投票二八五（棄權一六）無効三▲二七大竹登八　二六菅野源吉　二五澤田政人　二四阿部直術　二三草野政治　二二草野義孝　二一佐藤宜省　一八草野幹雄　一八佐藤倉藏　一七加藤喜八　一七佐川政壽　一五佐藤諄　▲次點一五阿部巖　一四草野惣吉
▲三坂村選擧當日有權者五六一　投票四九一（棄權五六）無効四▲四九渡邊三郎　四九田子慶三郎　四三熊谷直義　四一石川松樹　三七永山久助　三七佐藤軍彌　三五馬目平重郎　三三大起雅一　三〇大谷要之助　二七　内藤利盈　二四大竹治右工門　二三阿部忠男▲二〇安部平藏　九田子最仲
（以上）

小名濱町議 選戰激烈

期日は十七日

小名濱町に於ける町會議員の改選は來る十七日で從來競爭の烈しい同町に今回は多事多端な情狀から一層猛烈な選擧戰を演出されてゐるが定員は現在の十八名に對して六名を增加し二十四名となつて躍進小名濱の意氣横溢なるものがあり立候補は少なくて三十五六名に及ぶものと見られてる

三坂澤渡組合村の改選村會議員

石城郡三坂、澤渡組合村では去る五日村議改選を行つたが結果は左記の如くである

多種多彩な 内郷村議戰

投票は來る九日

石城郡内郷村は磐城炭鑛を所在する全國屈指の大村で定員三十名を擧げる村議改選は來る九日で現在四十名を算する立候補者の中には社會大衆黨から鈴木浦治、加藤木誠一郎氏その他勞動者關係團から頗る多彩な競爭を演じてゐる

十八名に 候補乱立

石城郡湯本町に於ける町議改選は來る十八日に行はれるが十八名の立候補に對して既に三十名の立候補を數えられ期日切迫と共に猛烈な競爭を豫想されてゐる

常磐講座

ヴアージンは處女の意であることは一般に使はれてゐるところ其の處女を堅持することを處女たることをヴアージニチーと云ひヴアージンソイルと云へば處女地とか未開拓地のこと

好間村の山路で 不良青少女を襲ふ

通行人に悲鳴を聞付られて 目的を果さず逃走

石城郡好間村の下好間字一丁坪無職渡邊竹次郎（二〇）は去る五月二十六日午後五時頃同村好間原地に於て通り合せた同郡内郷村の宮字竹の内八六内郷校六年生木村はな（一三）假名を附近山林中にかつぎ込み金を出せと脅迫したが少女の泣き叫ぶ聲を聞きつけた通行人に誰何されて目的を果さず現場を逃走し平署に於て厳探の結果昨六日好間村で取押へられたが竹次郎は札付きの不良で凌辱の下心もあつたことを自白した、尙ほ被害者は悲鳴を上げつゝ頑强に身を護つた際口邊を塞がうとされたので鼻血を出だしたが其の他は無事なるを得た

記念特輯 市になるまで

……磐城公友社が六月號に……

平市南町の磐城公友社は曩に甦る出で湯の町「湯本」を一梓して好評を博したが今回また平市の實施を記念し今六月號に「市になるまで」を特輯しひろく喜びを頒たれる筈であるが誌の内容は左記の如くで市民には勿論他の一般からも歡迎されることであらう

口繪大平市全景寫眞▲平、平窪の地勢及沿革▲人口戸數の動態▲教育▲社寺兵事▲營備衛生▲水道▲土木交通▲產業▲會社銀行▲金融▲社會事業▲財政關係▲名所舊蹟その他（以上）

獨唱と映画の夕

平青年團の主催で

平青年團が資金造成のため開催する『獨唱と映畫の夕』は來る十三日午後六時半から土橋通り楽楽館に於て催される筈であるが歌手は「酒は涙か溜息か」で知られたる藤山一郎氏を招ぐ由でプログラムは左の如くだ

▲僕の青春　丘を越えて

豊間大敗 サバ豊漁

加工で大繁忙

石城郡豊間村の大敗漁業は昨今鰯の大漁で非常な活況を呈してゐるが相場は十貫目十三圓前後を唱ひ漁獲物は全部加工されるので大繁忙を示し尙ほ同漁業本年の漁獲高は既に二萬三千圓に達し昨年よりも豊漁であると

第二區小學 聯合見旅

一泊二日間

石城郡教育部會第二區の小名濱校外十ケ小學校に於ける尋六高二兒童は來る二十四、五の兩日湯本方部、二十五、六兩日は小名濱方部の二班に分れて何れも東京一泊の豫定を以て見學旅行をなすと

平市三ケ小學の 聯合修旅

平第一、二、三小學兒童の聯合修學旅行は尋六年六百名來る十三日朝仕立の列車で出發の筈だが豫定時は左の如くであると

▲十三日午前四時四十分平驛發…同十一時十分日光着…午後四時三十分日光發…同七時二十一分上野着…十四日午後四時三十五分上野發…同九時半歸着

夏井村長改選

石城郡夏井村では村長阿部瀧藏氏の滿期改選で同氏が二期繼續の奉職から後進に席を讓り助役渡邊泰衛氏を滿場一致を以て推し渡邊村長は去四日から就任した

植田助役改選

石城郡植田町では助役渡邊國之助氏の去る五日の滿期で改選町會を招集し過ぐる町長の選擧に於て民政鷲氏と政友古川（現町長）氏の對立を圓滿に解決したので助役を民政派の意向に任せ町會議員北郷繁七氏を推薦滿場一致で承認す

青沼市長出縣

選擧期日の打合せ

平市の代理市長青沼鋒太郎氏は今七日出縣同市の施行に對する當局の勞を謝し尙ほ市制の事務と來七月初旬執行を豫定する市會議員選擧期日等についても打合せをなした

濱通中等校の野球戰

濱三郡中等校の野球戰は昨六日午前八時から磐中、平商兩球場で行はれたが戰績は左の如くである

磐中一五—A一相中　平商一一七—一相中　平商七—A二双中　磐中一一—五双中

入山軍勝つ

石城郡湯本町々營グラウンドに於て昨六日催された入山對郡工の野球戰は左記の如く入山軍勝つ

郡工〇〇〇二〇〇一二〇—五
山入〇〇八〇〇一〇〇A—九

豊間村會

石城郡豊間村では今七日午前八時から村會を開き十二年度海面漁業前期分の賦課額を決定した

前科二犯の無錢飲食

茨城縣那珂郡生れ當時住所不定無職佐藤勝正（三七）は昨年八月水戸刑務所を放免された無錢飲食前科二犯の男であるが去る五日夜平市四丁目高野屋料理店で七圓餘を飲食遊興し拘留となつて無一文と判り平署につき押された

女給班の平視察

平市西洋料理業組合女給教養會では高橋組合長外幹部と共に去る五日仙台市カフエー營業組合三島組合長、羽田、南田兩副組合長に引率された國防婦人會女給班幹部辻小夜子遠藤きよ子外一行八名の來平

隨筆 目黒祐天寺より

（勿來文庫雜抄）（6）

鮫川漁史

然らば其の文獻は如何と問ふに、粗雜な漢文記事であるが、荒唐無稽の揑作でなく、調はゆる正史料と認めてよい一篇だ。即ち次に見るもので筆者は無論泉藩主本多氏の臣

丹治者於奥州菊田郡中田邑側、殺常州櫻井氏左十郎、復父讐也、初文谷又左衛門者、善十郎扶持、無所不至俄有相怨、左十郎窃殺又左衛門而去、實明和元年甲申五月廿二日、又左衛門在五男、與右衛門、十四、彌藤次十二、丹次九、寅吉七、杢之助三、及姪同州鹽谷郡栗島邑太郎平、婿同郡太田邑定吉七人、九月十九日、訴于官請復讐、宮可之、而然兄弟苦辛學劍　今茲春聞讐在奥州岩城於是三月三日與右衛門、彌藤次、丹次三人、分路索之、十八日、彌藤次、丹次到常州、荒川、息于茶店、左十郎及其徒人過店前、店母曰、今日大博場乎、彼等博徒之魁也、

× × ×

磐城菊田郡中田村復讐記事

安永五年丙申三月十八日、下毛芳賀郡文谷邑民彌藤次

濱通中等校の野球戰

濱三郡中等校の野球戰は昨六日午前八時から磐中、平商兩球場で行はれたが戰績は左の如くである

磐中一五—A一相中　平商一一七—一相中　平商七—A二双中　磐中一一—五双中

入山軍勝つ

石城郡湯本町々營グラウンドに於て昨六日催された入山對郡工の野球戰は左記の如く入山軍勝つ

郡工〇〇〇二〇〇一二〇—五
山入〇〇八〇〇一〇〇A—九

豊間村會

石城郡豊間村では今七日午前八時から村會を開き十二年度海面漁業前期分の賦課額を決定した

前科二犯の無錢飲食

茨城縣那珂郡生れ當時住所不定無職佐藤勝正（三七）は昨年八月水戸刑務所を放免された無錢飲食前科二犯の男であるが去る五日夜平市四丁目高野屋料理店で七圓餘を飲食遊興し拘留となつて無一文と判り平署につき押された

女給班の平視察

平市西洋料理業組合女給教養會では高橋組合長外幹部と共に去る五日仙台市カフエー營業組合三島組合長、羽田、南田兩副組合長に引率された國防婦人會女給班幹部辻小夜子遠藤きよ子外一行八名の來平

平商の野外演習

平商業學校では去る五日中村配屬將校と廳原教官指揮の下に三、四年生の野外演習を磐間村方面に行つた

教員の体操講習

体協石城支部主催の第二區小名濱方面の小學校教員体操講習會は今七日から開始した

田町に猩紅熱

平市田町七五大角藤藏（八）は去る一日以後發病臥床町内清水醫師の三日の診斷で猩紅熱と決し隔離收容された

坑夫の落盤死

石城郡湯本町の入山炭鑛坑夫佐藤林治（三九）は去る三日午後一時過ぎ同坑内で作業中落盤に遭つて其の下敷きとなり壓死

今晩も明日も南東の風、曇時々雨（小名濱測候所）

福島県下一の呉服店 高橋屋呉服店

農業

果樹蔬菜と梅雨期（下）

一と通りの注意

追肥の際硫酸アンモニアを使用するときは水一斗に對して五匁ぐらゐの割合で溶かす弱い苗には量を少なくして回數を多くするやうにしなければならぬ、

茄子には立枯れ、青枯れ、赤ダニ、蚜虫などの病害虫があるから蚜虫には硫酸ニコチン八百倍液、赤ダニには石灰硫黄合劑百五十倍液、立枯れ病には根本に木炭灰を撒布して置く、

トマトは整枝に注意し冗枝を省く、且つ果實を日光にあてるため摘葉も適宜に行ふ、モザイク病、細菌性黑斑病、疫病には八匁式銅石鹸液及び三斗式ボルドー液を撒布す、

南瓜は摘心及び花粉の人工媒助をやる、うどんこ病には硫酸加里（水一斗に二十匁）液を撒布する、

胡瓜は特にベト病に注意する、これは七匁式銅石鹸液を三、四日おきに撒布する、

西瓜は摘心、敷藁をなし莖葉の諸病害に三斗五升式のボルドー液を數回かけることがよい、瓜守の成虫には砒酸鉛を水一斗について十五匁の割合で溶かして用ふることがよろしい、

なほこの外瓜類には露菌病などがあるがこれには銅石鹸液または石灰ボルドー液を四五回かけることに効果があり「いちご」の斑點病の豫防には石灰ボルドー液を撒布する等注意の一と通りは如上の如くである（完）

平市紺屋町
藤沢醫院
電話五〇七番

歯科開業
此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候
診療科目　口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、（其他齒科一般）
毎日晝夜診療　日曜午後休み
平市田町（藤田女學校前）
齋藤齒科醫院
東京齒科醫學士　齋藤賢三

漢方生公精
はりくすり
自家治療には西洋醫學の恐れも無く即に効力無く効力を位をモットーとする漢藥生公精のお用ひ易くお奨め致します。
本藥は漢方藥のみ調製せる粉末にしてこれに必ず「生公精」味共に良く練合ネル布に伸して使用するのです一回〜と共の効力があらわれ非常に使用する所に付てはよいの有る効能です。
使用法にあり。赤地に黑の文字で「生公精」と書いた旗の立てるお店が特約販賣所です。
（他に效能書の出て居る故ばらしく公開する故して見て下さい）
時々店頭に出る旗の方は本藥効能書出て下さい
肺炎・肋膜炎・氣管支・扁桃腺炎・神經痛・口イ・マヒス・關節炎・中耳炎・腰痛・骨膜炎・子宮・膀胱・打身・くじき・ルンバゴ・凍傷・火傷等病に効有り
藥の効の発現から得た良く効く藥はこれです
定價　四〇瓦入　五十錢　八〇瓦入　九十五錢　四〇瓦九袋入　二円廿錢　四〇瓦十袋入　四圓
平市五丁目角
山野邊藥局

夏が來た、夏が來た、
カンカン帽は踊る…冠ったタイプ
おゝ……涼味……涼味……涼味
¥.40…¥1.30
1937型パナマハット
¥75…3.00…9.80
其の他可愛らしい……お子様用帽子豐富陳列
ツルヤ（平市四〇）電一四〇

産婦人科外科藥局
院長　醫學博士　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、齒列矯正科、小兒齒科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平市田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九〇九九

『看護見習募集』
明雲堂眼科醫院（電話六六九）
平田町（三丁目裏川岸通）
入院應需（自炊の便あり）

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　院長　醫學博士　鈴木定藏
小兒科　部長　醫學士　木下基一
產婦人科　一般外科　皮膚泌尿器科　部長　醫學士　池谷宗三郎
レントゲン科　物理的療法科　部長　醫學博士　鈴木定藏　技師　岡田重德
藥劑師　部長　藥劑師　吉本幸平
診療時間　毎日午前八時より午後九時迄　夜間診療に從事す（急患は此限にあらず）
往診隨時、病室完備（自炊の便あり）

表代城磐酒銘
美味經濟
ヤマワル醬油
山崎合名會社
電話十番

勸業、復興、割引
各債券
現物賣買
平市仲間町
横山商店債券部
電話二七二番
振替東京九〇六一〇